

センターの概要整理票

名称	アーバンデザインセンターびわこ・くさつ（UDCBK）
主な活動エリア （名称・面積等）	滋賀県草津市域全域 JR琵琶湖線南草津駅を中心に東は立命館大学びわこ・くさつキャンパスから西は琵琶湖までのエリア
設立年月日	2016年10月1日
活動エリアの 状況と課題	京都・大阪のベッドタウンとして今もなお人口増加を続ける草津市。その中でも、UDCBKが位置する南草津エリアは、乗降者数が滋賀県内で最も多いJR南草津駅があり、1994年のJR南草津駅開設と立命館大学びわこ・くさつキャンパスの新設を契機に、集合住宅を中心に急速に宅地開発が進んだところである。 そのため、急速な発展に伴う交通問題や新旧住民の交流する空間がないなどの課題がある。また、大学や企業の研究開発拠点が集積しており、知の資源や民間活力を最大限に活かした健康都市を実現することも必要となっている。
設立経緯	平成23年に、JR南草津駅に新快速が停車するようになって、これまで産学公民で共有していたまちづくりの共通目標が一区切りを迎え、新たに今後のまちづくりの方向性を共有する必要性を議論。 その後、平成24年度の草津未来研究所の調査を経て、平成27年度にUDCの設立を検討するための懇話会からの提案を受け、平成28年10月に開設。 平成29年8月にはより広く市民等に利用してもらうことを目的として、JR南草津駅前の人通りの多い現在の場所に移転。
センターの 活動概要	<p>■草津市のアーバンデザインに関する交流・学習活動の促進</p> <p>(1)草津市の未来のまちづくりを検討する上で必要なテーマについての交流・学習活動の促進とそのための場の提供</p> <p>(2)草津市の未来のまちづくりを検討する上で必要なテーマについての交流・学習プログラムやイベントの開催</p> <p>(ア)アーバンデザインスクール：市民と専門家をつなぐコミュニケーターを育成</p> <p>(イ)アーバンデザインセミナー：テーマごとの相互学習の場と機会の提供</p> <p>(3)都市空間に求められる滞留可能なパブリックスペースのモデル的实践としてのオープンスペースの運営管理</p> <p>(4)そのほか、企業・大学・草津市・市民などと連携したワークショップの開催や、開催の場の提供</p> <p>■調査研究</p> <p>地域の課題を解決するための調査研究を実施</p> <p>■社会実験準備</p> <p>市と包括協定を締結する大学を対象に、UDCBKが選定したテーマに沿った事業を提案し、大学に委託（社会実験準備事業等）</p>
今後の活動の 展望・課題	<p>①南草津駅周辺の将来を見据えた都市デザイン連携（公園利活用・地域再生計画支援）、都市と交通シナリオスタディ、大学を活かしたまちづくりなどの各プロジェクトの推進</p> <p>②PDCAサイクルにもとづく事業活動の展開</p> <p>③情報発信の強化</p> <p>④持続可能な組織運営体制の検討</p>
運営母体組織の 名称と組織形態 （法人格等）	草津市総合政策部草津未来研究所の事業として実施
運営母体組織の 構成団体	草津市の事業として実施 アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業運営懇話会を組織

	<p>公共：草津市、草津市コミュニティ事業団、草津商工会議所等が委員として参加 民間：滋賀銀行、パナソニック アプライアンス社が委員として参加 大学：立命館大学、滋賀大学、京都橘大学、滋賀県立大学、滋賀医科大学、龍谷大学が委員として参加</p>
運営母体組織の代表者・理事等	<p>センター長：及川清昭（立命館大学教授） 副センター長：武田史朗（立命館大学教授）、木村博（草津市総合政策部理事）</p>
実務体制 (人数・所属・担当)	<p>常駐スタッフ4名 スタッフ担当：運営3名 事務1名 職員所属（人件費負担）：市職員4名（うち、嘱託職員1名、臨時職員1名）</p>
施設概要 (場所・所有者管理者等・広さ・機能)	<p>南草津駅前ビル（フェリエ南草津）5階の草津市市民交流プラザ内に設置（平成28年10月15日から平成29年7月31日） 南草津駅前の商業施設（西友南草津店）の一階テナントに移転（平成29年8月） 面積225㎡ キッズスペースを備えるフロントエリア、机・イスを自由に組み合わせることのできるワークショップエリア、大きなテーブルのある会議エリアが緩やかに繋がるワンルームであり、学習ブース、展示壁、スタッフ事務スペースで構成。</p>
問合せ先 住所・電話・Email	<p>〒525-0059 滋賀県草津市野路1-13-36 西友南草津店1階 TEL:077-562-3932</p>
ホームページ	<p>http://www.city.kusatsu.shiga.jp/sisetsuannai/community/UDCBK/index.html</p>

■組織運営・施設運営にかかわる公・民・学の役割分担について（追加）

運営・活動に係る 主な負担者や 役割分担の概要	・現在は市の事業として実施しており、現在、 組織体制 を検討している。 ・当面は大学との持ち寄り型の連携事業を展開
実務スタッフの所 属・人件費負担	・4名のスタッフは市の職員4名（うち、 嘱託職員 1名、臨時職員1名） ・市が人件費負担
施設の契約形態 賃料等の負担	・市の事業であるため、市が西友と賃借契約を結び、市が費用負担
個別活動に係る 経費負担	・アーバンデザインスクール、 アーバンデザイン セミナー、社会実験 準備事業等 は市 が負担 ・その他共催イベントの協働実施主体分は協働実施主体が負担、市は人的場所的支援
公的資金の拠出	有
公的資金の拠出方法	市の事業として運営
その他公共の負担	
民間資金の拠出	無
民間資金の拠出方法	
その他民間の負担	
大学資金の拠出	無
大学資金の拠出方法	
その他大学の負担	
独自収益事業	

■連絡担当者（複数名でも可）

氏名	所属・役職	E-mail
中瀬 明美	UDCBK参事	kusatsumirai@city.kusatsu.lg.jp
坂居 雅史	UDCBK 専門員	kusatsumirai@city.kusatsu.lg.jp